



# いざ災害！…そのとき飲料水は？

海老名市は災害時、通常の給水設備が破壊した際の応急給水のため、

(1) 飲料水兼用貯水槽（右下表）及び、鋼板プール

(2) 県企業庁水道局の災害用指定配水池（右下表）等から飲料水を供給する。

- ・貯水槽は各施設の地下に埋設されており、自動の緊急遮断弁によって、災害時にも新鮮な水が蓄えられている。（貯水方法の概要は下図を参照）
- ・市内19箇所の貯水槽および2箇所の災害指定配水池の総貯水量は、それぞれ全市民の約1ヶ月分の総飲料水に相当する。

しかし、貯水の水質維持の問題や不測の事態に対応するためにも、市民は自助努力として1人1日あたり3リットルの水を最低3日分は確保することが望ましい。

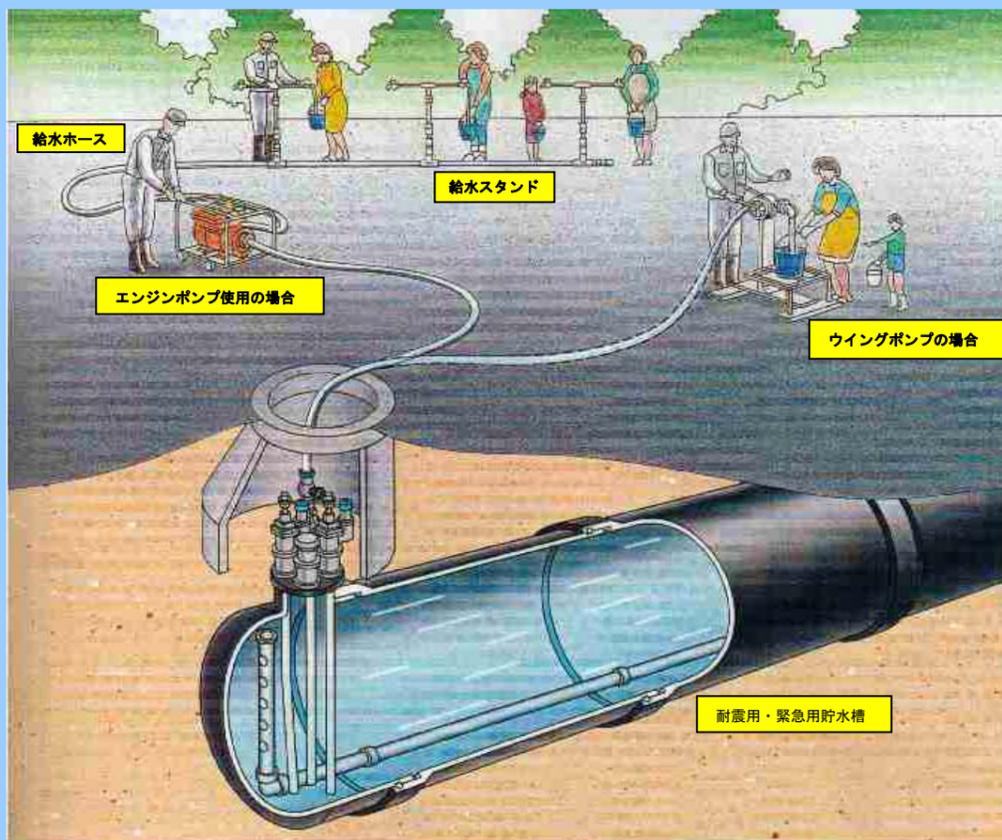
応急飲料水兼用貯水槽

施設名	貯水量 (m <sup>3</sup> )	施設名	貯水量 (m <sup>3</sup> )
海西中学校	100	門沢橋小学校	100
東柏ヶ谷近隣公園	100	上星小学校	100
市役所	100	県立中央農業高等学校	100
杉久保富谷児童公園	100	海老名中学校	100
社家小学校	100	大谷近隣公園	100
有馬小学校	100	東柏ヶ谷近隣公園	100
中新田小学校	100	大谷小学校	100
今泉小学校	100	海老名運動公園	60
大谷中学校	100	柏ヶ谷第一児童公園	100
杉本小学校	100		

県災害用指定貯水池

配水池	配水池水量	確保水量
上今泉配水池	19,020m <sup>3</sup>	8,550m <sup>3</sup>
杉久保配水池	12,039m <sup>3</sup>	3,930m <sup>3</sup>

貯水槽から給水している様子



貯水方法の概要（緊急遮断式）

